

## 歴史(近代文化の形成)

19世紀の終わりに、日本の伝統の価値が見直されるようになり、アメリカ人の  
①\_\_\_\_\_が岡倉天心と協力して日本の美術の復興に努め、日本画の  
②\_\_\_\_\_ (『無我』)などが近代的な日本の美術を切り開いた。その一方で、  
フランスに留学した③\_\_\_\_\_ (『湖畔』)などによって、新しい文化も紹介された。  
また、音楽では④\_\_\_\_\_ (『荒城の月』)が名曲を残し、洋楽の道を開いた。  
日清戦争前後には、文学では個性を重んじる⑤\_\_\_\_\_主義が主流となり、  
⑥\_\_\_\_\_ (『たけくらべ』)や⑦\_\_\_\_\_ (『みだれ髪』)が活躍し、日露戦争前後に  
主流となった⑧\_\_\_\_\_主義が流行する一方で、⑨\_\_\_\_\_ (『坊っちゃん』)や  
⑩\_\_\_\_\_ (『舞姫』)が小説を発表した。また、1907年に義務教育は⑪\_\_\_\_\_年にな  
り、教育の広がりの中で、⑫\_\_\_\_\_ (破傷風の血清療法の発見)や  
⑬\_\_\_\_\_ (黄熱病の研究)などの優秀な学者もあらわれた。